

Project Name

玉島のお茶文化に触れてみよう!

玉島に魅力的な茶室がたくさん残っているのを知っていますか?

江戸時代、玉島が北前船の湊町であったことはよく知られています。そのころの家屋も現存し、古いものでは江戸時代後期のものも見られます。そしていつのころからか、そうした家屋の内部や敷地の奥に茶室が構えられるようになりました。表通りからは見えないのでなかなか気付きませんが、家に茶室を構えるという気風は戦前の玉島におおいに拡がり、戦後もつづいて受け継がれていきました。

現在でも、少なくとも40席くらいは残っていると予想され、当時に比べて激減したとは言え、湊町のごく限られたエリアにこれだけの茶室が現存する例は全国的に見ても珍しいと言えるでしょう。しかし近年、老朽化に伴って取り壊されることが続いています。このままでは、玉島に茶室文化が花開いたこと、これを機縁として様々な文化活動の高まりがあったことなどの玉島独特の伝統と文化が消え去ってしまう危機感をもちました。私たちはこうした状況をたいへん惜しいことだと思い、「玉島茶室群研究会」を立ち上げました。

そして、これまでの専門家による調査の結果を「玉島茶室めぐりvol.3」として、11月9～23日まで玉島中央町の遊美工房で展示します。また、講演会、正式な茶会や気軽に参加できるファミリー向けの茶会も企画しています。玉島に現在も残るお茶文化、「おもてなしの心」を体験してもらえたらと思っています。



西爽亭 仙風閣 招流閣 / 赤木家 清泰庵 / 茶会 / 展示風景

Group Name

玉島茶室群研究会

2001年から展覧会・コンサート・講演会等の活動を始めた遊美工房を母体としており、2012年に発足。2013年、茶室の専門家、池田俊彦先生の「湊町で茶室がこれだけ残っているのは珍しい。茶室群として調査したら面白い」という助言から本格的に活動を開始しました。

【お問合せ】Tel・・・090-5378-6675 Fax・・・086-525-2893 E-mail・・・yumikobo@isis.ocn.ne.jp

事業概要

事業の目的

- 茶室群を玉島の歴史文化として発信し、素晴らしい歴史資産であることを知ってもらうとともに、整備・保存することで観光資源へとつなげる。
- お茶席体験などを通して地域の人々と町家に残る歴史文化を共有し、根底にある「おもてなしの心」を感じてもらう。

活動内容・実績

2013年から30余りの茶室を調査し、2回の展覧会、1回の講演会・玉島の茶室体験等を行ってきました。協力者も増え、マスコミも玉島の茶室に興味を示し、取材も増えました。

団体からのメッセージ

測量(経験のある方)や聞き取り調査を手伝ってくれるボランティアを募集しています。

私たちが大切にしていること・・・茶室は個人宅にあるため、プライバシーに配慮して調査すること。正確な情報をできるだけ多く集めて、わかりやすく紹介すること。

この活動を通じて得たもの・・・30余りの茶室の調査を通して、玉島の茶室群が継承していくべき文化遺産だとの確信を得ています。

